

開校150周年

学校だより



はえ
南風の子

中種子町立

南界小学校

令和5年12月22日(金)

2学期を終えるに当たって

校長 芝原 には

今日で、79日間の2学期が終了しました。毎年、2学期は行事が多く、忙しくも充実した学期ですが、令和5年度の2学期は、特に印象深く忘れられない年となりました。

かつてないほどの猛暑だったこの夏。残暑が残る中での運動会は、地域の方々の御理解と御協力のもと、午前中の開催となりました。時間は短くなりましたが、地域種目も実施でき、地域の方の編成への御協力のお陰で中学生種目も実施することができました。そして、開校150周年を記念しての写真撮影。たくさんの笑顔がはじけました。今、校長室の事務机横の柱から毎日、見守ってくれています。

運動会後は、町民運動会や校区・町の相撲大会、町駅伝大会と子供たちが地域の皆さんに大変お世話になりました。多くの皆さんが子供たちを見守り、心から応援してくださっていることが分かり、大変ありがたく幸せに感じることでした。子供たちは、町の陸上記録会や音楽祭も経験し、大きく成長しました。

そして迎えた11月19日の開校150周年記念学習発表会・記念式典・祝賀会。子供たちの姿に胸が熱くなりました。地域の皆さんや卒業生の思いに身が引き締められました。各集落の出し物に心が朗らかになりました。記念講演で諦めないことの大切さを学びました。

そして、先日、学校保健委員会として、元日本女子サッカー代表選手である森本ゆう子様においでいただき「夢を叶える講座」を実施しました。その中でも「夢は逃げない。夢から逃げるのは自分の心」という言葉がありました。人には、顕在能力の3万倍の可能性があり、それに蓋をしているのは自分自身の心だということです。大きな夢を語り、諦めずに失敗しても前向きな心で追い続けることが大切。そして、それを応援してくれる周りの人に感謝の気持ちをもつこと。小山田裕二様の話に通ずるところがあり、奇しくも、スポーツの世界で生きる2人から生き方を説いていただくことになりました。ありがとうございました。

さて、子供たちは、いよいよ冬休みです。PTAでも話があったことと思いますが、学校生活では味わえない体験や年末年始の行事に触れてもらいたいと思います。この冬休みの帰宅放送は、南界小学校の6年生4名が担当します。こちらも楽しみにしていただくと同時に、地域の皆さんにも、危険な遊びをしている子や帰宅時刻が遅い子を見かけましたら、声をかけていただきたいと思います。

各御家庭では、新しい年を迎えるにあたり、一年を振り返るとともに、来年への希望を語り合う時間にして欲しいと思います。健やかで、楽しい年末年始を過ごされますようお祈り申し上げます。

どうぞ、皆様よいお年をお迎えください。

